

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musasi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

武蔵国分寺跡資料館  
Musasi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10  
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091  
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp  
[HPアドレス] http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html

2010.10  
第4号



## 東山道武蔵路 国指定史跡に

平成 22 年 8 月に、東山道武蔵路跡は国の史跡に追加指定されました。既に指定されている武蔵国分寺跡の附として、名称は「武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路跡」となりました。



## 東山道武蔵路とは

市内の発掘調査で確認されている東山道武蔵路とは、武蔵国が東山道に所属していた時代に、都から信濃国や上野国を経由して東へ走る東山道本道から分岐し、武蔵国へ南下するために設けられた支路です。

宝亀 2 (771) 年に、武蔵国は利便性の観点から東海道に所属替えとなり、官道としての役割は他の道路に移りましたが、その後も改修を経るなどして平安時代にも人々の往来に使用されていたようです。



泉町 2 丁目（西国分寺地区）の東山道武蔵路跡

## 律令国家の道路網整備

律令国家の下で行われた事業として代表的なものに、交通網の整備があります。全国を五畿七道に区分し、都と七道諸国をつなぐ幹線道路が整備されました。古代官道は、都を中心とした地方支配を行う国家体制のなかで、物の流れや情報の伝達などたいへん重要な役割を担うものでした。



## 国分寺市内の東山道武蔵路

国分寺市では、古代官道の規模や構造を伝える道路遺構が確認された泉町 2 丁目一帯について整備を行い、側溝の跡や道路幅を歩道のアスファルト上に平面表示しています。現在、国分寺市立第四小学校跡地において発掘調査成果を反映させた歴史公園の整備を進めています。

古代を今に伝える見どころが、また一つ増えることになりました。

(学芸員 坂上恵梨)



整備された泉町 2 丁目（西国分寺地区）の東山道武蔵路跡

この道は  
どこへ通じるのか…  
この道は  
なぜつくられたのか…

武蔵国分寺跡資料館 平成22年度 特別展

# 古代道路を掘る

— 東山道武蔵路の調査成果と保存活用 —

【期 間】

2010年10月30日(土)  
～2011年1月30日(日)

【会 場】

武蔵国分寺跡資料館 講座室



東山道武蔵路から見た武蔵国分寺の風景イメージ

## ● 国史跡追加指定記念展示

今年度の特別展は、東山道武蔵路跡が国史跡に追加指定されたことを記念して、国分寺市内の東山道武蔵路の発掘調査の成果を中心に、パネルでご紹介します。

## ● I 古代の官道とその役割

現在の道は、誰もが往来できますが、古代の官道(駅路)は税物の運搬や、重要な任務を受けた公使・官人、地方国司の往復など、限られた人々が中央と地方を移動するために整備されました。平安時代に編纂された『延喜式』をもとに駅路を復元すると、総延長は実に6,300 kmにも及びます。

駅路は、諸国の国府と国府、そして中央の都とを結び、30里(約16 km)ごとに駅家が置かれました。駅家では官馬(駅馬)が飼育され、公の通信の際に利用されました。



東山道武蔵路(泉町・西国分寺地区)

昭和40年代後半までの日本の古代道路の研究では、駅路は細い道幅で、山や沼などの地形に左右され曲折の多い道と考えられていました。しかし、歴史地理学による地形の分析や考古学による道路跡の発掘調査によって、古代道路が直線的で大規模な道路であったことが判明しました。

中でも、国分寺市泉町の調査(平成7年)では幅12mの直線道路が南北340mにわたって見つかり、これが『続日本紀』に記された東山道本線と武蔵国府を結ぶ往還路、「東山道武蔵路(現在の呼称)」であると判明しました。

## ● II 国分寺市内の東山道武蔵路

東山道武蔵路は国分寺市内の複数地区で調査が行われてきました。西国分寺地区では最終的に400mにわたる直線道路が確認され4時期の変遷があったことが判明しています。西恋ヶ窪地区では、低地の軟弱な道路の基盤を強化するための土木作業の痕跡が見つかり、道路を直線で通すための工法のひとつがわかりました。



「久」墨書土器  
(旧第四小学校跡地出土)

平成18年度に調査された旧第四小学校跡地からは、道路側溝と重なる位置の竪穴住居跡や、祭祀を行ったと考えられる特殊な遺構などが発見されています。

また道路に関連する遺跡として国分僧寺の北側、東山道武蔵路沿いの住居跡からは、「厩」と書かれた墨書土器が見つかり、お寺の馬屋の可能性が考えられます。

## ● III 古代道路を護る

西国分寺地区で東山道武蔵路が発見された際は、研究者のみならず、多くの方々の注目を集めました。市民の方々の保存運動もあり、その後は道路遺構の地下保存、遺構の一部展示、地表を遊歩道とする整備が行われ、現地を訪れると12m幅の道のスケールを実感できます。

東山道武蔵路は平成22年8月に史跡武蔵国分寺跡に追加指定され、現在も旧第四小学校跡地の保存・活用整備を行っています。

展示をご覧いただき、古代国家の一大プロジェクトであった古代道路整備の実態と、遺跡の保存について考えていただければ幸いです。

(学芸員 増井有真)

特別展関連EVENTS

国史跡指定記念歴史講演会



「東山道武蔵路の時代—日本の古代道路とその保存・活用—」東山道武蔵路が武蔵国分寺跡の附で国史跡に追加指定されたことを記念して講演会を行います。

【講師】近江俊秀さん（文化庁記念物課）  
佐藤信さん（東京大学大学院教授）  
【日時】2010年11月3日（水・祝）  
12：30 開場／13：00 開会／13：10 基調報告  
13：30 講演1／15：00 講演2／16：20 閉会

展示解説



展示室で資料館学芸員が展示解説を行います。

【日時】2010年12月5日（日）  
2011年1月15日（土）  
※2日間ともに10：00、14：00の各2回（約30分）

追加募集中

【定員】320名  
【申込方法】事前申込（お電話にてお申し込みください）  
【受付期間】〆切は前日11月2日（火）まで  
※定員となり次第〆切らせていただきます。  
【申込先】ふるさと文化財課 042-300-0073  
【会場】国分寺市いずみホール  
国分寺市泉町3-36-12（JR西国分寺駅南口徒歩1分）  
【費用】無料  
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

【定員】30名（前後）  
【申込】不要  
【参加費】おたかの道湧水園の入園料100円  
【集合場所】武蔵国分寺跡資料館 展示室1  
【問合せ先】武蔵国分寺跡資料館 042-323-4103

EVENTS

歩いていく市外文化財めぐり



国分寺崖線と府中崖線、二つの崖線の歴史と湧水をめぐります。

【日時】2010年11月23日（火祝）  
9：00～16：00（予定）  
【集合】史跡武蔵国分寺跡講堂跡

【見学先】都立殿ヶ谷庭園、滄浪泉園、浅間山、滝神社、武蔵国衙跡

【定員】50名  
【募集期間】11月2日～11月18日（電話で申し込み）  
【参加費】無料  
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073  
※詳細は国分寺市報[11/1]・市ホームページでお知らせします。

ボランティアガイドと武蔵国分寺跡をめぐってクイズに答えよう



ボランティアガイド発足1周年を記念して、武蔵国分寺跡をめぐります。クイズに正解された方には、賞品があります。

【日時】2010年11月6日（土・無料公開日）  
①11：00 ②11：30 ③13：30 ④14：00  
【集合】おたかの道湧水園入口

【所要時間】約1時間  
【定員】各回15名（先着順）  
【受付】各出発時間15分前  
【参加費】無料  
【クイズ数】4問  
【問合せ先】史跡の駅 駅長 042-312-2878  
※詳細は国分寺市報[11/1]・市ホームページでお知らせします。

NEWS

東京都文化財ウィークのお知らせ

2010年10月31日～11月14日は、東京都文化財ウィークです。

無料公開日お知らせ

2010年11月3・6・7日は、おたかの道湧水園秋の無料公開日です。

臨時休館のお知らせ

2010年10月26日（火）～29日（金）は展示資料入替のため臨時休館いたします。

武蔵国分寺推定復元模型

長年皆様に親しまれてきた旧文化財保存館の1/200スケールの武蔵国分寺推定復元模型の一部を切り出して改修し、資料館の展示室1に設置しました。





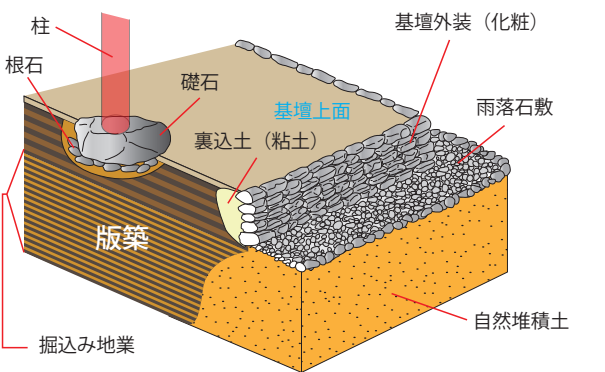
金堂北東隅の乱石積基壇外装

こんどう きだんがいそう  
金堂の基壇外装(化粧)は、らんせきづみ  
らんせきづみ  
乱石積と呼ばれる河原石を積み重ねたもので、石は大きいもので直径60cm以上もあります。このような大きな石を安定させ、崩落を防止するために裏込土には粘土が用いられました。北東隅の調査



金堂東側の乱石積基壇外装と雨落石敷

地点では、1~2段の石がわずかに残っている状態ですが、基壇上面の高さ(約1.2m)まで積み上げられていたと考えられます。基壇の外周には幅0.9mの雨落石敷が巡り、屋根の軒先から滴る雨で地面が窪むのを防いでいます。



金堂の乱石積基壇外装と雨落石敷の模式図

来館者数

おかげさまで1周年!!

2009年10月18日~2010年9月末日

来館者数累計 16,211名

多くのご来館ありがとうございました!!

2010年

月	来館者数	開館日数
7	755	27
8	476	26
9	562	26
計	1793	79

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数  
○来館者数( )内は無料公開日の入園者数  
○開館日数( )内は無料公開日の日数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

[電車] JR国分寺駅下車/徒歩約20分 JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

[バス] 国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分  
国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

■開館時間

午前9時~午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日から1月3日まで)  
臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)  
一般……………100円(年間パスポート1000円)  
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)
  - 身体障害者及びその介護者が入園するとき(券券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。)
  - その他教育長が特別の理由があると認めるとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる  
武蔵国分寺跡  
資料館  
Musashi Kokuninji Temple Remains Museum



モバイルホームページQRコード